

8月のお支払い状況

病気入院	11件
事故入院	2件
事故手術	2件
事故通院	14件
こころの早期対応保障	5件
計	34件

お支払い金額  
**3,051,000円**

\*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。

たすけあいアンケートより

「いつもありがとうございます。手続きは難しいものではなく意外と簡単にできました。これからも誰かのために頑張ってください。」  
(急性虫垂炎 入院4日 共済金40,000円)



おかえりなさいキャンペーン

開催日時：10月1日(火)~4日(金) 12:10~12:50 場所：食堂Horest内



生協学生会と大学生活アドバイザーで、夏休み中の帰省や旅行で病院にかかっていたときの給付申請忘れを無くすための「おかえりなさいキャンペーン」を行いました。

お渡ししているポケットティッシュの中には「相談窓口」や「学生生活無料健康相談テレホン」「共済マイページ」登録について等の案内が記載されています。

身近にケガで病院にかかっていたり、病気で入院している学生がいたら、相談窓口に行くようお伝えください。

学生総合共済は大学生活にあった保障内容で弘大生の約9割が加入しています。相談窓口が生協店舗にあるので、空きコマなどの自分の都合の良い時間に学生が一人で相談や共済金請求手続きができます。

【相談窓口】文京町地区：たびshop 本町地区：FERIO

編集後記



生協健やか隊員研修を受けてきました。「健やかプラチナ隊員」となり、これでQOL健診のスタッフになることができます。40代になり体のアレコレが気になるお年頃…。今から改善も遅くはないですが、気になってくる前、20代の元気なうちから意識して習慣化しておいたほうが病気やケガの予防にも良かったと反省する次第です。大学生になって生活リズムや食生活が変わったけれど、まだ変化に気づいていない学生へ気づいてもらうにはデータなど目に見えるものがいちばんですね。おせっかいおばちゃんといわれても、何度でも健康について意識してもらえるように伝えていきたいと思います。(SHIMO)

※QOL健診は弘前大学COIにより開発され、自分の健康への気づきから、生活習慣改善の目標がもてるようなプログラムです。生協では、県医師会健やか力推進センター様との共催で簡易版を開催しています。

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。  
弘前大学生協のホームページは、「弘前大学生協」で検索!

異文化交流 フィリピンILOILOツアー (英会話講座ACE受講生)

開催日：8月26日(月)~9月1日(日) 参加人数：19名(弘前大学10名・福島大学9名)

- 開催目的
- 「オンライン」から「リアル」で！パソコン画面越しに出会った学生に、実際に会いに行こう！
  - 環境・貧困・教育等の課題に直に触れて知り、同年代の学生とともに考えよう！

プログラム

4月と7月にオンライン異文化交流を行い、フィリピンの学生とオンラインで繋ぎ「ゴミ山の問題」「スラム街での生活」「フィリピンと日本の食文化」について交流しました。

今回のツアーは、オンライン異文化交流でパソコンの画面越しに見た、フィリピンイロイロ市に実際に行き、目だけでなく、体全体で感じ、ゴミ処理場の訪問も含め、フィリピンの社会問題について触れ、現地の方々と直接交流をし深く学ぶプログラムです。

- DAY1：成田空港を出発し、マニラ経由でフィリピンイロイロ市へ
- DAY2：イロイロ市内のショッピングモールへ行き物価調査やインタビュー
- DAY3：学校訪問 文化交流
- DAY4：イロイロ市ごみ処理場訪問・フェアトレード商品の製作体験
- DAY5：大学 (ISAT-U) 訪問と歴史探訪 (ハロ大聖堂・戦争歴史資料館)
- DAY6：フィリピンイロイロ市を出発し、マニラ経由で羽田空港へ



小学校訪問での文化交流の様子一緒に折り紙をしています。

ツアーへ行く前と違い、色んなことに積極的になれていると感じています。フィリピンに行った経験のおかげでやればできると自分に少し自信を持つことができました。また、色々な文化に興味を持つようになり、例えば、他の国の暮らしだったり物価だったり気になるようになり、自分の視野が広がるようになったと思います。(Risa.T)



ゴミ処理場、事前のオンライン交流ではわからなかった臭いやそこで生活する人の様子を実際に目にしました。

~~~~~

トイレの設備が想像よりも簡素だったことや公立と私立で小学校設備に大きな差があること、義務教育段階の年齢の子で学校に通えない子がいることなどイメージと異なりました。また、路上に野良犬が多くいたことや家庭でゴミの分別をしないことに驚きました。(Ayano.O)



(左) フェアトレード商品製作体験で作ったプレスレット  
(右) 物価調査を行ったショッピングモールで実際に購入したドリンク。フィリピンのスタバでメニューもその国独自のメニューでした。



~~~~~

感情表現をする時に、that's niceとかgoodくらいしか使えなかったのもっと表現の幅が広がればなーと思いました。今回のツアーに参加して、外国の友達をもっと作りたい！英語のリスニング、スピーキング力をつけてもっとスムーズに会話できるようになりたい！(Mao.Y)



弘前大学からのツアー参加メンバー

# 2024年度 第4回 理事会報告

次回は10月31日(木)予定

## 議決事項

第1号議案 大学生協事業連合増資要請への対応

第2号議案 2025年度新学期方針

芹田理事より、2025年度新学期の全体方針について提案がありました。新入生に提供する商品・サービスが大学生活のどんな場面で必要になるかなど、先輩学生自身が実感し、自信を持って新入生に提案できるよう研修を進めていく旨、報告がありました。

第1号議案から第2号議案について、全会一致で可決承認されました。



## 報告事項

### 6. 学生組織活動報告

佐々木理事(学生委員長)より、総代企画「弘大謎解きクイズラリー」の報告があり、実施の際に検討すべき点について質疑・意見等がありました。キャンパス内の講義棟も活用し、学生総代にとどまらず教職員総代も交えた企画にしていこう今後検討していきます。



### ■2024年度上半期決算

決算の特徴  
供給高は予算比9.3%未達だが前年並みの利用となった。3月新入生の来場・利用が増加し、住まい紹介やiPadの利用、ウェルカムパーティの参加者数が増加したことから、生協として新入生・保護者の新生活準備をサポートできた。  
4月以降、商品価格の高騰で利用は減少しているが、学内の滞在人数が回復しつつあり食堂の夕食利用が増加している。一方で、公務員講座や自動車学校、書籍など、学生自身の将来のための利用が減少している。人件費、物件費は予算内で執行しているが、賃金上昇や物価高騰が下期により大きく影響する。

	昨年	予算	実績	予算差	昨年比	予算比
総供給高	1,099,581	1,165,554	1,091,844	-73,710	-3.3%	-9.3%
供給剰余金	255,990	272,049	248,487	-23,562	-8.2%	-13.1%
供給剰余率(%)	23.3%	23.3%	22.8%	32.0%	-	-
受取手数料	152,873	144,987	154,477	9,490	1.0%	6.5%
事業総剰余金	408,863	417,036	402,964	-14,072	-1.4%	-3.4%
人件費	204,581	206,933	201,754	-5,179	-1.4%	-2.5%
物件費	136,223	145,645	136,250	-9,395	0.0%	-6.5%
(事業連合委託費)	25,152	24,576	24,576	0	-2.3%	0.0%
事業剰余金	68,059	64,458	64,960	502	-4.6%	0.8%
事業外損益	4,815	8,656	12,355	7,541	-4.6%	0.8%
経常剰余金	72,873	73,114	77,315	4,201	6.1%	5.7%

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

## 公務員試験対策講座

祝！国家総合職内定3名(農林水産省2名、林野庁1名)  
今年も弘前大学から国家総合職試験最終合格者が11名出ました！快挙！  
そのうち3名の合格者が官庁訪問を経て省庁に内定！



3年生受講生も試験勉強頑張ってます

SHAREA店では公務員を目指す学生のために毎年5月ごろから学内講座を開講しています。全国で8,300人の受講生がいる、大学生協オリジナル公務員講座では、約1年間かけて、一次試験対策と二次試験対策を進めていきます。

今年の3月～8月に実施された公務員試験の合格状況が出揃いました。9月以降の試験もありますので、最終合格状況はまたお知らせします。



- 2024年8月末最終合格状況 延べ198人(内訳)
- 国家公務員 96人(国家一般職52、国家専門職22、裁判所一般職10、他)
  - 都道府県庁 61人(北海道庁12、青森県庁37、岩手県庁2、秋田県庁2、他)
  - 市区町村 40人(札幌市役所5、青森市3、東京都特別区2、他)
  - 独立行政法人 1人

## Peace Now! OKINAWA

開催日：9月3日(火)～5日(木)

- 1日目：平和祈念資料館・祈念公園で沖縄の平和と戦争の歴史を学ぶ  
沖縄戦の歴史や今に続く課題を学び、2日目のフィールドワークで大切にしたい視点を伝え交流
- 2日目：対馬丸記念館、嘉数高台公園、糸数アブラガマ、ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館でフィールドワーク
- 3日目：二日間の学びを踏まえ学習交流会



平和祈念公園 平和の広場にある「平和の火」



糸数アブラガマ



対馬丸記念館では、疎開しようとした若い子の命がたくさん亡くなったことを知りました。当時の小学生の平和な生活を表す、教科書やノートなどが展示されている場所がとても印象的でした。

沖縄に行く前と後で戦争や平和に関するイメージがガラッと変わりました。悲惨だったとは思っていましたが、実際に当時の証言や記録を目にするとやはり無意識に信じたくない自分がいたことに気づきました。真実を知るには相当な覚悟が必要だと思いますが、自分が思っていたよりも当時の状況は想像を絶するものでまだすべては受け入れられていません。今では戦争を経験した日本人はほとんどいないでしょう。では想像しても無駄かと言われると、そうではないと思います。戦争を知らない僕たちですが、平和は知っています。平和のために何ができるのか、平和とは何なのか今一度考えられました。この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。

理工学部2年 古川一颯



ひめゆり学徒隊だった方の証言ビデオを見ました。資料館の中にはひめゆり学徒隊の沖縄戦前後の様子が記されていました。沖縄戦で生き残った学徒隊が、「自分は生き残ってしまったという負い目を感じている」と感じていたのがとても印象に残っています。



学習交流会の様子

私は沖縄での平和学習を通して、沖縄戦の歴史、当時の状況、今に続く問題を学ぶことができました。資料館では、戦争の前と後の状況が全く異なり、まるで別の世界のように感じました。グループワークでは様々な意見を交換して、「平和」について考えました。日本で戦争を経験した人がどんどん少なくなっていく中で重要なのは、過去に起きた事実を知り、それを後世に伝え続けて、風化させないことだと思います。この平和学習の前の、自分の中にあった「残酷」という戦争のイメージが、平和学習の後でさらに強くなりました。現在でも世界で起こっている戦争を忘れず、日常でも平和について考える機会を増やしたいと思います。

農学生命科学部1年 橋本衛

Peace Now!とは…組合員の平和で安全な生活を守るために、大学生協は平和活動に取り組んでいます。その活動の一つとしてPeace Now!を開催しています。Peace Now!では、原爆が投下された広島・長崎、地上戦が行われた沖縄の3か所それぞれを舞台に、全国の学生が集まり、数日間をかけてフィールドワークや戦争体験者の講話、現在世界で抱える問題の学習を通して、戦争や平和について学び考え、様々な価値観を持った学生同士が「平和」というテーマで深く話し合い交流します。弘前大学生協からはPeace Now! OKINAWA(9月3日～5日)へ学生2名が参加しました。